

広酪TMR25WCS

★ 特 徴

- WCS用稲（たちすずか・たちあやか）を現物25%（乾物8.75%以上保証）混合する事で低コスト化が実現！！
- ※ WCS用稲（たちすずか・たちあやか）の特徴
 1. 牛が消化しにくい籾（モミ）が少ない。
 2. 高栄養（茎葉に糖分が蓄積されている）。
 3. 収穫適期（出穂後40～50日）が長い。
- 安定基金対象（30.4%）！！
- 乾牧草内容（アルファルファ、スーダン）
- 500kgのキューブ型圧縮梱包により、高品質で、嗜好性の良い発酵飼料が供給可能（発酵期間は20日以上）。



1. 成分量

（単位：原物中%）

① 粗たん白質	8.2 %以上	⑤ 粗灰分	5.00 %以下
② 粗繊維	15.0 %以下	⑥ Ca	0.55 %以上
③ 粗脂肪	2.0 %以上	⑦ P	0.16 %以上
④ 可消化養分総量	37.0 %以上	DM	53.5 %

含有する飼料添加物の名称 酸化マグネシウム

※ DM数値は発酵過程により、2～4%の下方変動があります。



2. 原材料名等

原材料の区分	配合割合%	原 材 料 名
①穀類	22.4%	トウモロコシ圧入、大麦圧入、加熱大豆圧入、きな粉
②そうこう類	15.2%	ビール粕、ヨーグルトソフイド、醤油粕
③植物性油粕類	6.4%	大豆油粕、なたね油粕
④その他	56.0%	飼料イネ、アルファルファ、スーダングラス、糖蜜、豆腐粕、綿実、ビートパルプ、炭酸カルシウム、食塩

※ 6～11月製造分は、カビ毒吸着剤を添加

3. 広酪TMR飼料給与管理標準指標

泌乳ステージ		乾乳前期	乾乳後期	産褥期	泌乳最盛期	泌乳中期～後期	
目 標		乾物摂取量の低下や乳房炎の感染を防ぐ。	乾物摂取量が低下する時期。細めな観察を行い牛の状態変化を見逃さないこと。	泌乳量に対し乾物摂取量が少ない時期。食い止まりを起こさないこと。	乾物摂取を最大化させる飼料給与を行う。	次の泌乳期に向け粗飼料の摂取量を維持し、ボディコンディションの調整を行う。	
管 理	ボディコンディションスコア (BCS)	乾乳初期のスコアを維持する。		急激なコンディションの減少を防ぐ。授精適期を逃さない。		乳量低下した牛は、乾草給与でTMR給与量を調整する。	
	飼料給与のポイント	移行期TMR+粗飼料給与。 ルーメン派・・・乾乳後期に配合増給。 肝臓派・・・前期、後期は一律給与。		TMRの多回給与（掃き寄せ）を行う。 添加剤給与と併せ、立ち上げをスムーズに行う。		乾草増給しオーバーコンディションにならないように、次の産に備える。	
	飼料切替のポイント	乾乳期間50日とし、乾乳後期（分娩予定20日前）から分娩後10日まで移行期TMRを給与する。分娩後から高泌乳用TMRを徐々に給与する。					
T M R	広酪TMR25WCS	←-----→		←-----→			
	移行期用TMR	←-----→			←-----→		
	配合・サブプリ	←-----→		←-----→			
	購入乾草・ロール	←-----→			←-----→		
				泌乳曲線			
添 加 剤	ビタミン「HR1014C等」	←-----→		←-----→			
	カルシウム「広酪リンカルベレット」 液状カルシウム「カウライザーVⅢ」	←-----→ 移行期TMR給与でCa補給。			←-----→		
	カーブエイド 強肝剤（快肝）	←-----→		←-----→			
	重曹・食塩等	←-----→		←-----→			

————— 給与可能な時期 ----- 状況により給与可能な時期

※ 添加剤は広酪購買重点品目として位置付けしている。

4. 推奨給与例 (1日当たり給与ステージ量、体重 650kg、夏設定 (kg/頭))

給与品目		乳量						
		50kg	45kg	40kg	35kg	30kg	25kg	20kg
完全TMR型	1 禾本科牧草					1.0	2.0	2.5
	2 広酪TMR25WCS	48.0	47.0	45.0	43.0	40.0	36.0	34.0
	3 添加剤	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2
購入粗飼料型	1 禾本科牧草	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	4.0	4.5
	2 広酪TMR25WCS	35.0	35.0	35.0	35.0	32.0	30.0	28.0
	3 配合 (CP17 TDN75)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	4 サプリ (CP20 TDN86)	3.5	2.5	1.5				
	5 添加剤	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2
自給粗飼料型	1 禾本科牧草	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	2 自給粗飼料 (イタリアン)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	10.0	12.0
	3 広酪TMR25WCS	30.0	30.0	30.0	30.0	28.0	26.0	25.0
	4 配合 (CP17 TDN75)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
	5 サプリ (CP20 TDN86)	3.5	2.5	1.5				
	6 添加剤	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2

試験時のメニュー内容 (単位: kg)

No.	給与品目	給与量
1	オーツ	6.0
2	クレーングラス	2.0
3	広酪TMR25WCS	20.0~25.0
4	全酪クリーンパワー	7.0
5	コーン圧ペン	0.5
6	大豆粕セミフレーク	0.4
7	広酪リンカル	0.2
8	その他添加剤	0.1~0.2

※ 購入粗飼料型

乳量35kg以上はTMRの摂取量で調整。

※ TMRは平均30kg/頭以上の給与を目指しましょう。
制限給与ではなく、もう一口与える給与をしましょう。

5. 利用組合員の声

○試験組合員

- ・嗜好性がよい。
- ・乳量、乳質に変化はなかった。
- ・血液検査結果からも牛群にまとまりができた。

○従来のTMRを変更した組合員

- ・以前と比べ、崩しやすくなった。
- ・嗜好性がよいため、切り替えがスムーズであった。
- ・自給粗飼料が少し喰い辛そう。

○配合飼料分離給与から新たにTMRに変更した組合員

- ・よく食べる牛は切り替えがスムーズで乳量が伸びた。
- ・急な切り替えは残飼量が増える。

広島県には
HIROSHIMAKEN
ロマンがある！



みわTMRセンター



ミキサーへの投入風景



ミキサーからバールマスターへ



ラップバールマスター

給与方法、開封方法などご不明な点はお問合せください。

製造業者の名称及び住所

広島県酪農業協同組合
広島県三次市東酒屋町 306-65
TEL 0824-64-2072

製造事業場の名称及び所在地

広島県酪農業協同組合みわ TMR センター
広島県三次市三和町羽出庭 2992-1



「豊かさ」「健康」「潤い」の酪農を目指す

広島県酪農業協同組合

